

登山月報



ノース・テロン氷河からのリモI峰(右)とリモIII峰(中央)



JMSCA公認夏山リーダー養成講習会&資格検定について	2
創立60周年記念出版	4
『UIAA総合登山技術ハンドブッカー夏季アルパイン』日本語版	
第5回「山の日」記念全国大会延期	4
第139回 Mountain World	5
新連載 Enjoy Climbing	6
山岳保険の加入は登山者のマナー	7
登山再開に向けてのガイドライン	10
JMSCA、寄贈図書、表紙のことば、編集後記	12

JMSCA公認夏山リーダー養成講習会&資格検定について (新型コロナで中止になった講習会および検定会の再スタート)

1. 2020年度のJMSCA公認夏山リーダー養成講習会および資格検定会の中止そして再スタート

2019年度に、夏山リーダー講師養成講習会を、近畿地区、信越(金沢)地区で行い、これで2020年度は夏山リーダー講習会を開催できる見込みが立ち、「東京、広島、石川」が講習会「神奈川」で資格の検定会を開催するべく日程も決定してJMSCAのHPにも広報した。

ところが、2月頃より新型コロナウイルスの感染拡大で、緊急事態宣言が発出され、講習会どころか会議まで3密を避けるために中止になり、2020年度に予定していた講習会はすべて中止になりました。全国で盛り上がっていたのに非常に残念です。

今の状況では2020年度は難しいので2021年度に仕切り直し、再度スタートします。

2. 資格証バッジとワッペンが完成しました。

講習会終了後、10ヶ所以上の登山経験後資格検定に合格しJMSCAに登録が完了すれば付与いたします。皆様、挑戦してもらいましょう。(どこの山かわかりますか?)

(1)シリアル番号が刻印された夏山リーダー資格証のバッジです。



(2)シリアル番号が入った夏山リーダーのワッペンです。アイロンで、ザックとかに張り付けられます。



シリアル番号は、バッジとワッペンを全国で統一され、「0001」よりスタートします。100番以内は、早い者勝ち Sampleの場所に「0001」より刺繍されます。

3. JMSCA公認よりスタート

2019年夏にUIAAの査察を受けて、UIAA公認

を目指していましたが、査察を受けて合格するためには、現在オプションとしているロープワークを、カリキュラムに含まなければならない。また、UIAA公認のリーダーは引率型のリーダーにしなければならないこともわかりました。他に講習会および資格の検定会の時間数が、他の国に比べて少ないとの指摘もありました。UIAA窓口の担当者と懸命に連絡を取り情報を入手することで事前に判明しました。

そこで、UIAA公認は再度仕切り直しで、必要なロープワークを必須科目とし、テキストを作り、カリキュラムに入れて、講習会や検定会用の資料の作成をすることになります。

さらに、引率型リーダーとして、山に行く数日前より天気をチェックして、山行当日の天候を予想するか、急な天候の悪化で川が増水したときはどのような判断をしたら良いかなど、色々なアクシデントが発生した時にリーダーとしてどのように判断したら良いかのリーダー教育のカリキュラムを新たに入れます。

また、講習会や検定会の不足の時間は、実技を増やすことになり、例えば、1泊2日で登山をしながら検定会をすることで2日間、ロープワークも講習や検定を実際に行くと結構な日数の増加になると考えています。

以上のことを加味して、2021年度以降にUIAA査察を再度検討しています。ただし、本来の目的である「遭難を少なくするためには」から始めた「夏山リーダー」の講習会や資格の検定会は、現在のカリキュラムでJMSCA内部で承認されているので、この資格を「JMSCA公認夏山リーダー」講習会および資格としてスタートします。

4. 全国で講習会を開催する

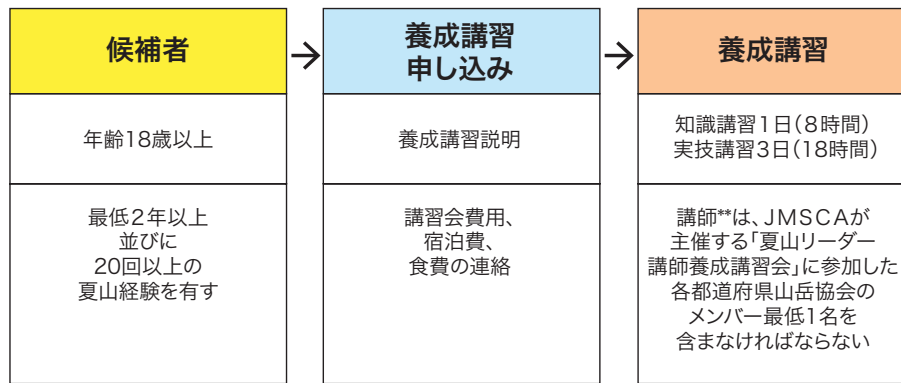
全国どこで受講しても同一の知識と技術レベルを目指す。

そのために、岳連の指導委員会および遭難対策委員会の公益財団法人日本スポーツ協会(以下「JSPO」という)の指導者資格保有者が講師になることにより、講習会の技術レベルを確保する。

また、同一内容の講習会を開催するために、講習会を主催する団体の最低1名以上が、講師養成講習会に参加していただく。参加いただいた講師は主任講師と

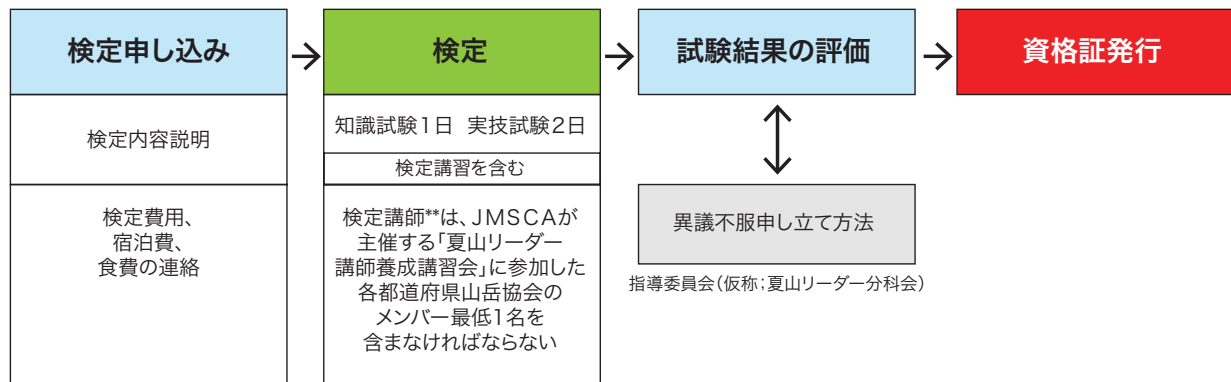
夏山リーダー養成講習会から資格の検定会までの流れ

(1) 養成講習会



(2) 資格の検定会

受講条件：講習会終了後最低10回以上、3カ所以上のモデル山域あるいはモデル相当山域での夏山経験を積む事



し、新しい技術を指導するために4年間を有効期限として、更新講習会を受講することとする。

その講師養成講習会では、夏山リーダー講習会の運営方法や、テキスト、パワポなどの資料の使い方を説明し、特に遭難の一番の原因のナビゲーション実技講習の場所の選定方法や、講習会の実施方法を指導する。これにより、全国どこでも、だれが主催する団体でも同一レベルで受講いただけるように統一を図る。

最初は、指導方法の考え方の違いにより意見が対立することも多々考えられるが、意見を交換して指導方法をより良く発展させ、遭難を無くす目的のために力を合わせる事が重要である。

また、全国で3,000人弱のJSP O公認山岳指導者(コーチ)の指導の場として、指導者を活用します。

全国どこでどのような団体が講習会や検定会を開いているかの情報をJMSCAのHPで公開することで多くの登山者の受講につなげたい。

5. 夏山リーダー公認資格の管理について

現在まで20年近く行っている指導委員会のJSP O公認コーチ資格者(スポーツ指導者)制度の運用と同様にすることで、JMSCA内部では資格の追加と考えると、岳連の事務処理および運用もスムーズに行くと考える。

(1)夏山リーダー講習会および検定会を翌年開催するかを岳連または団体より提出。(この情報をJMSCAのHPに掲載して、登山者に知らせる)

(2)新年度になり、主催者は申請書を提出。

(3)JMSCAより委嘱書を返信する。

(4)講習会および検定会を実施する。

ア) 岳連および団体：受講者名簿を提出する。

イ) JMSCA：テキストおよび受講者氏名をいれた修了証を送る。

ウ) 岳連(協会)および団体は講習会終了後、修了証を授与する。

(5)検定会の場合

ア) 岳連(協会)および団体：合格者の名簿をJMSCAに提出。

イ) JMSCA：検定会実施後、申請された合格者に資格証を送る。

ウ) 合格者：JMSCAデータベースに登録し、登録料を支払うと、バッジとワッペンが付与される。

(6)夏山リーダーの合格者の管理

合格者は、JMSCAのデータベースで管理し、有効期限、更新案内、更新費用などを管理する。

主催者のJMSCAアカウント保有者は、夏山リー

ダー資格保有者のデータベースを見て管理することができる。

6. 夏山リーダー講習会、資格および受講費用について

(1)費用について

全国どこで受講しても、検定を受けても同一レベルにするために、最低料金を決めてその金額以上とする。

(2)有効期限について

ア) 夏山リーダー講習会修了者

有効期限は無しとするが、講習会修了証に、受講修了年月日を印刷して、継続して受講していることを証明する。

イ) 夏山リーダー資格

有効期限4年間として、有効期限の6ヶ月前までに更新講習を受講いただき、更新条件が整ったら更新案内をメールまたは郵送で送り、更新料のお振込により新しいJMSCA公認夏山リーダー資格証を発行する。

以上の管理は、JMSCAのHPよりデータベースにアクセスして行えるようにする。

7. 今後の展開

(1)多くの登山者に受講いただくために

山岳会やハイキングクラブに入っている人、SNS登山サークルや登山友達など、多くの登山者または、分野は違えども山をフィールドにしているトレラン選手、スキーやスノーボードで山に入る人、

もっと拡大して、山菜採り、キノコ採りの人々も含めて講習会を受講していただくためにどうすれば良いかを考える。講習会の存在および資格を知らしめる方法として、SNSおよびYouTubeで、講習会を公告する。また、ツイッターやフェイスブックでも告知する。

将来は、都道府県ごとに遭難者の減少率をランクにして、表彰につなげて減遭難対策に寄与したい。

(2)山菜取りキノコ採りのために

毎年時期になると必ず行方不明者が出る山菜取りキノコ採りの人こそ、スマホGPSが必要。地元の山岳会、警察及び消防と合同で、スマホでGPS講習を進めたい。

(3)UIAA公認の認定が取り、引率型の夏山リーダー資格が取得できれば、文部科学省関係の全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟、大学山岳部の関係者の皆様にご協力をいただき全国で講習会及び資格取得者を養成したい。

(4)外国の登山者について

近年、富士登山および屋久島だけでなく、日本の山に登山にくる外国人が急激に増えてきている。遭難ニュースも見る機会が多くなってきた。急激な氷雨や、雪で登山道がわからなくなる日本の山の知識を積極的に教えなければならない。どこの組織が担当するかなどまだまだ、未知数のことが山積みだが、外国からの登山者は増えている。早急に、対策を検討すべきである。 (記 蛭田伸一理事)

創立60周年記念出版 『UIAA総合登山技術ハンドブック —夏季アルパイン』日本語版



本協会では創立60周年記念事業として国際山岳連盟(UIAA)とペツル財団著作の『Alpine-Skills:Summer』の日本語版(翻訳:大和田英子)を出版しました。

B5サイズ、376頁、全頁カラー、頒価2,200円(税込)※送

料無料

購入ご希望の方は、下記郵便振替で代金をお振込みください。(摘要欄に書籍代とご記入下さい。)

郵便振替口座番号: 00110-5-546693

加入者名: (公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会

第5回「山の日」記念全国大会延期

令和2年8月11日に大分県九重町・竹田市で開催する予定だった第5回「山の日」記念全国大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で令和3年に延期された。

これにともない山形県山形市・上山市で開催予定の第6回「山の日」全国大会は、令和4年8月に変更された。

第139回 Mountain World

中国エヴェレスト登山隊 51人が登頂

池田常道

コロナウイルス禍でチベット側は外国人の登山を禁止、ネパール側は全面的閉鎖を採用したため、この春唯一のエヴェレスト登山隊となった中国隊が、3日連続で登頂に成功した。

まず5月26日、6人のルート工作隊が頂上まで固定ロープを設置、翌日には測量チーム10人が機器を携えて続き、28日には中国のエージェント、「ヤルラシャンポ・エクスペディションズ」が集めたクライアント14人が、チベタン・ポーター21人に付き添われて登頂、3日連続の成功で合計51人の登頂者を記録した。昨年春の登頂者が876人（複数回登頂を含む）もあったことからすれば極端な落ち込みであったことはたしかである。

クライアントのなかには16歳の少女も含まれており、彼女が測量ポールと共に写っている頂上のビデオが公開されている。ベンガル湾を北上したサイクロンに脅かされはしたが、67年前のヒラリーとテンジンによる初登頂記念日である5月29日より1日早く目的を達成したことになる。

頂上に設置した測量ポールが撤収されたかどうかは不明だが、1975年のときの三脚と同じように残されて、将来の登頂者に中国隊の「偉業」を物語ることになるのだろう。

今回の測量結果がまとまるまでには2、3か月かかるという。前号でも触れたように、ネパールは昨年中に、サウス・コルから頂上に立って現地測量を終えており、データ整理にとりかかっていたところだった。ネ政府は、中国側のデータがまとまった段階で新高度を共同発表したい意向らしいが、数値のすり合わせには手間取ることが予想される。中国は、欧米諸国がGPSで利用している衛星ではなく、独自のシステムを使っているからだ。

*

コロナウイルスの蔓延に備えてネパール、チベット、インドのヒマラヤ諸国が軒並み外国人の登山を禁止したなか、パキスタンだけがこの夏の外国登山隊受け入れを許容するかも知れない。

イムラン・ハーン首相が、シーズン初めにさしか

かった6月になって、「制御された山岳ツーリズム」の実施を語っているからだ。カラコルムの山々が解禁されるとなれば、すでに来年に希望を託すことにしていたクライマーや公募隊が活気づいて殺到するかも知れない。

ハーン首相は、各地方政府の協力を得て山岳ツーリズム再開の可能性をさぐっているようだが、この国の現状は楽観視できるものではない。コロナウイルスの感染者数は、中国のそれを上回る9万人に達し、死者は（報告されただけでも）1800人を数える。医療態勢も脆弱だ。パキスタン山岳会のカラル・ハイドリ会長は、再開されれば、山岳地帯で働く7万5000人が危機にさらされるという。キルギット＝バルチスタンのハフェーズ・ウル・レーマン大臣は、90%の住民が外部からの入域に懸念を示していると言う。テロリストが跋扈した最悪の時期に山岳ツーリズムができなくても耐え忍んだ事実を引き合いに出して、彼は反対している。しかし、その任期はこの6月24日に切れてしまうだけに、首相の要望にどこまで抵抗できるか、残された時間はない。

*

マルク・バタール（フランス）が2022年のエヴェレスト挑戦を明らかにした。1988年にBCから22時間半で無酸素登頂してスピード王の評判をとった彼は70歳を迎えるにあたって、無酸素登頂の最高齢記録（イタリアのアーベレ・ブランの55歳264日）に挑むことにしたのである。ルートは北面で、パサン・ヌル・シェルパ（43、13回登頂）とパキスタンのムハンマド・アリ・サドパラ（44）が同行する。目的は、ネパールに設立予定の「国際ヒマラヤ登山学校」の資金調達だという。



マルク・バタール68歳 愛犬と

ミネラルキャニオン開拓記 その3

横山勝丘

11月12日に日本を発った横山と加藤は、同日ユタ州ソルトレイクで倉上と合流した。翌日、レンタカーを借りていざ南下。今回は、アプローチ短縮を目論んでゴツイ4WDのピックアップトラックを奮発した。レンタカー代は高いが、これがなければ毎日プラス2時間のアプローチを余儀なくされる。それだけの悪路なのだ。

いかにもアメリカンな車に一同大はしゃぎ。モアブまでの4時間半は一瞬。モアブで買い出しを済ませ、さっさと最初の目的地インディアンクreekへ出発!となるはずが、ここでトラブル発生。3人の名誉のために事の詳細は書かないが、車が動かなくなり、あえなくこの日はモアブで一泊。翌日、ソルトレイクからレンタカー会社の兄ちゃんを呼び寄せた結果、エンジンは完全にイカれて代車に交換とのこと。「あやうくエンジン交換だぞ!」と言われ、事の重大さによりやく気づく。

車も新しくなり、修理代金のことはとりあえず忘れて一路インディアンクreekへ。ここでしばらくの間、砂岩のクラックに体を慣らすのだ。この日は着いたのが午後遅くて、足慣らしに人気エリアで簡単な5.10を一本ずつ登って終了。翌日も別の人気エリアに向かって、各々砂岩のクラックに取り付く。しかしヨセミテから直行で合流した倉上は単調なハンドクラックにはまるで興味がないようで、アプローチを終えると「僕、アップであれやります」と指さす先には、細〜いフィンガークラック。トポを見れば、5.12とある。「さすがはマスター」と加藤と二人顔を見合わせるが、いざ取り付くや否やテンションの山。待てど暮らせど進む気配もなく、荒い息だけが聞こえてくる。長い時間をかけてようやく降りてくるや、

「僕、砂岩のクラックをナメてました!」

「うむ、素直でよろしい」

やはり、花崗岩のクラックと砂岩のそれでは勝手が違う。ジャミングだけでいえば、砂岩の方が誤魔化しがきかないのだ。まあそれも、彼の能力をもってすればすぐにフィットさせてしまうのだろうけど、この時ばかりは僕も加藤も、彼も人間なんだと胸をなで下ろしたのであった。

インディアンクreekでの思い出は、たったこれだけ



手つかずの岩と絶景キャンプ。贅沢の極み。

である。その日の午後、僕たちはこの地を離れた。一刻も早くミネラルキャニオンに向かいたい!という完全一致の結論であった。確かに、インディアンクreekで登っていれば砂岩のクラックに慣れることができるだろうし、気楽にクライミングを楽しむことができる。だけど、僕たちが心の底から求めているものはここにはなかった。「この先はどうなっているのだろうか?」「本当にココ、登れるのだろうか?」そんな疑心暗鬼や、埃にまみれ、浮石に怯えながら危うい一手を出したりすることをプラスと捉えるか、マイナスと捉えるか?それによって行き先は変わる。僕たちにとっては、そういう一見ネガティブな要素とどれだけ戯れることができるか?が重要な旅なのだ。モアブに戻った僕たちは、街で再度買い出しを済ませ、キャニオンランズ国立公園の手前にベースキャンプを設置した。

翌日から早速車でキャニオンの底までアプローチする日々が始まった。少しでもハンドルミスをすれば奈落の底のスイッチバックをビビりながらこなし、キャニオンの底に入ってゆくと、一同よそ見が止まらなくなった。道は完全にデコボコで、慣れない僕たちは何度か車の底を擦ってしまう。その度に、「あ〜また修理代が…」と嘆くが、それよりも周囲の景色に圧倒される。目的のバットレスは、キャニオン入口から数えて右岸の8番目だ、とはジェイの談。ところが、もうここに来るまでの間に、第何バットレスか数えられなくなっていた。しかも、そのすべてが手つかずだなんて…。

アプローチを終えるや否や、倉上が指さす先には、美しいアレートとその脇に寂しげなほどに細いクラック。他の二人よりも滞在期間が短いのはわかるけれど、いきなりコレ!?!と思えば加藤も、隣の恐ろしげに開いたワイドクラックに目を付けた。二人はそれぞれのクラックをエイドアップしてアンカーを作り、フィックスロープを張って意気揚々と掃除を始めた。一度ロープにぶら下

がってしまえば、彼らは何時間も降りてくることはなかった。全身砂まみれになりながらクラックに詰まった砂をかき出し、浮石を根こそぎ破壊し、時々ムーブやプロテクションを確認する。傍から見ていても、彼らの喜びが直に伝わってきた。

僕のプロジェクトはそこから数十メートル右にある。前回細切れにしか解決できなかったムーブは、初日にすべてクリアになった。ただ、これを下から繋げてレッドポイントするには、一つ一つのムーブをさらに洗練させ

る必要がある。他のクラックの開拓にも興味はあったが、最初の数日間はプロジェクトをワークしながら砂岩のクラックに体を馴染ませることに専念した。

そんなわけで、ひとたび岩場に着いてしまえば、3人がそれぞれのミッションを黙々とこなすものだから、作業は割と孤独であった。時々、隣り合う加藤と倉上の笑い声が僕の方まで届き、そのたびにちょっぴりジェラシーを感じながらも、僕は広大な空間に身を置くこの状況そのものに酔いしれていたのだった。

山岳保険の加入は登山者のマナー

登山では事故を起こさないことがもっとも重要だが、それでも事故は起きることがある。事故が起きた場合、捜索や救助に頼る可能性もあり、高額になり得る捜索費用等をカバーするために山岳保険に加入することも、登山の重要なリスクマネジメントである。

以前は、山岳遭難事故の捜索・救助活動は、所属する山岳会か地元の消防団・山岳会などの民間人による人海戦術によって行われることが多かった。そのため捜索・救助隊員の日当・旅費などの費用がかかり、長期間にわたる捜索活動などでは、かなりの捜索費用を要した。また、当時も民間ヘリコプター（以下「ヘリ」という。）での救助もあったが1時間で約100万円と高額であった。

その後、平成3年6月、雲仙普賢岳の溶岩ドームから大火砕流が発生して死者・行方不明43名という大惨事が起こった。この噴火災害を契機に各都道府県に防災ヘリが配備されるようになった。

さらに時代が進むと山岳会離れや会員の高齢化が進み、自力救助隊の編成が難しくなった。地元の消防団・山岳会でも仕事や高齢化のために人を集めにくくなり、こうした要因から遭難・救助活動は、人からヘリに移行していった。

山岳遭難事故の捜索・救助活動を行う警察官や消防職員などの公務員の活動は無料であり、警察、消防のヘリや救急車の利用も無料である。（但し、埼玉県では、2018年1月から防災ヘリ有料化の県条例を施行した。）しかし、民間ヘリは有料であり、10分間で約10万円の費用がかかる。地元山岳会などの民間人の捜索救助活動も有料である。

警察による初期捜索活動で発見されず、捜索打ち切りになった場合、引き続き捜索活動を続けようとする民間に頼むほかない。

このように山で遭難して捜索・救助されると全てが無料というわけではなく、お金がかかる。それも場合に

よっては、とんでもない金額になることがある。以前の登山者は、山での「事故と弁当は、自分持ち。」として、事故を起こした場合に備えて山岳保険に加入していた。最近では「防災ヘリは、タダ。」が独り歩きして付保されない登山者も多いが、そうで無いことを肝に銘じてほしい。事故を起こした挙句、経済的負担まで残された家族にかけてはいけない。

山岳保険と共済制度について

現在、国内で山岳遭難事故の捜索救助費用を担保する制度には、保険と相互扶助制度の2タイプがある。

保険制度は、遭難捜索費用を保険で支払うタイプ。山岳保険は、損害保険会社の団体総合生活補償保険等に捜索救助費用保険を特約したもので、傷害保険、損害賠償責任保険などから成り立っており、捜索救助費用のほかに死亡・後遺障害、入通院、傷害手術、個人賠償責任保険等も補償される（加入タイプによる）。また、24時間補償の損害保険のため、登山中に限らず日常生活のケガも補償され、保険料は、加入タイプによって異なる。

他には、遭難捜索費用に特化した定額保険料の保険タイプもある。

一方、会員の互助精神に基づく共済制度（相互扶助制度）は、積み立てた基金などから支払うタイプで、捜索救助費用の補償に特化したものが多い。保険でないので、死亡・後遺障害、入通院、傷害手術、個人賠償責任保険等の補償はない。

保険料の代わりに年会費や事後分担金等で捜索救助



費用を賄っている。

因みに日本勤労者山岳連盟では、1971(昭和46)年11月から労山会員の互助精神に基づいた山岳遭難における共済制度「労山遭対基金」(現在の名称は、「労山山岳事故対策基金」)をスタートさせて、会員の山岳遭難事故に対応している。

山岳保険の保険期間には、1年毎に契約する長期と山行毎に加入する短期がある。短期の場合、どうしても保険料が割高になるので、長期をお勧めしたい。

共済制度の補償期間も、1年毎になっているものが多い。

捜索救助費用保険には、ピッケル、アイゼン、ロープ等を用いる登山(山岳登攀)も対象になる保険と対象外の保険もあるので、自分の山行スタイルや頻度に合わせて適正な保険に加入するのが望ましい。

各種山岳保険(長期タイプ)の簡易比較表を別表に掲出したので、ご参考されたい。

JMSCA山岳保険

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)の前身である全日本山岳連盟では、1962(昭和37)年度から登山者の山岳遭難捜索・救助費用を担保するために大同生命保険会社と提携して山岳保険をスタートさせた。当時は、捜索救助費用を調達する意味合いが強く、一時借用金制度などもあったが、保険としての運営では、いろいろな問題を抱えていた。

そうした問題を解決すべく1974(昭和49)年度から山岳遭難共済制度をスタートさせ、さらに1987(昭和62)年からは「積立共済」も新設した。

しかしながら、2006(平成18)年4月に無認可共済の規制のため保険業法が改正され、それによって従前の山岳遭難共済制度の運用ができなくなった。そこで山岳共

済会と山岳遭難捜索保険に分離し、一般登山者も保険に加入できるようにした。

JMSCA山岳共済会は、「相互扶助制度」の共済会ではなく、格安な保険料で山岳保険に加入できる共済会です。保険商品としては、「登山コース」、「ハイキングコース」、「トレランコース」、「スポーツクライミングコース」を用意しており、山行スタイルに合わせて選べるようにしている。これらの保険は、損害保険会社の三井住友海上火災保険が担当しており、昨年1年間^(*)の保険金支払いは約9,850万円になる。(※2018年7月1日～2019年6月30日)

JMSCA山岳共済会が、格安(約46%割引)な保険料の山岳保険を登山者に提供できるのは、損害保険会社と団体保険契約を結んでいるからで、団体割引30%、大口割引10%、過去の損害率による割引15%が適用される。

また、JMSCA山岳共済会では、山岳保険の補償内容も登山者の立場に立って損保会社と協議して商品化している。たとえば「登山コース」保険の遭難捜索費用であれば、既往症に関係なく疾病が原因で遭難した場合でも、遭難捜索費用が支払対象にするなど改正してきた。

一方、JMSCA山岳共済会に入ると、以下のような特典もある。

- ・ 格安な保険料の山岳保険に入れる。
- ・ 海外登山の格安な海外旅行保険に入れる。
- ・ 支払対象外の疾病死亡に対して弔慰見舞金が支払われる。
- ・ 会員制の捜索ヘリサービスの「ココヘリ」に入会金無料で入れる。
- ・ ピンポイントで行方不明者を探す位置探知機「ヒトココ」のレンタルサービスを受けられる。
- ・ 優待提携施設で優待割引が受けられる。

JMSCA山岳保険の遭難捜索費用と救援者費用の違い

	遭難捜索費用	救援者費用
アイゼン、ピッケル、ロープ等の登山用具 ^(※1) を使用した登山	○	×
ハイキング・トレッキング等 ^(※1) を用いない登山	○	○
自然壁でのクライミング	○	×
人工壁でのクライミング	○	○
病気による救助	○	×
海外での ^(※1) を用いた登山	×	×
海外でのハイキング・トレッキング	×	○
登山以外のスポーツ中、外出中の事故	×	○
救助者又は死亡者の現地からの移送費	×	○
親族等の現地駆けつけ費 ^(※2)	×	○
諸雑費(救援者の渡航手続き等) ^(※3)	×	○

※2：救援者2名分まで
※3：20万円限度。日本国内では3万円程度

各種山岳保険比較簡易一覧

	JMSCA山岳共済会	モンベル保険	jRO	やまきふ共済会	レスキュー費用保険
補償内容	山行形態による	山行形態による	山行形態問わず	山行形態問わず	山行形態問わず
救援者費用	300～500万円 ^(※1)	500万円	550万円	500万円・1000万 ^(※2)	300万円
遭難捜索費用	100～300万円 ^(※1)	100～200万円 ^(※1)			
死亡・後遺障害	100～500万円 ^(※1)	5～400万円 ^(※1)	なし	1万円・50万円	なし
入通院	加入タイプによる ^(※1)	加入タイプによる ^(※1)	なし	加入タイプによる	なし
個人賠償責任	1億円	1億円	なし	0～3億円	なし
費用	保険料は月割で減額	1、3、5年間	1年間	1年間	1年間
入会金	なし	なし	2,000円(税別)	なし	なし
年会費	1,000円	なし	2,000円(税別)	4,000円～1万円	なし
保険料・他	加入タイプによる ^(※1)	加入タイプによる ^(※1)	750円～1,500円 ^(※3)	なし	4,000円
申込み方法					
個人	○	○	○	○	○
団体	○	なし	○	なし	なし
WEB申し込み	○	○	○	○	○
支払方法					
個人	クレジットカード 払込取扱票・口座振替	クレジットカード 払込取扱票・口座振替	クレジットカード 払込取扱票・口座振替	クレジットカード 払込取扱票	クレジットカード 払込取扱票
団体	払込取扱票・口座振替	—	払込取扱票・口座振替	—	—
補償期間	年度ごと1年 (中途加入可能)	1、3、5年	1年	1年	1年
開始	毎月1日・15日・WEB 申込は申込完了の2営業日後	払込翌日0時	払込日午後6時	申込みと同時	払込翌日0時
終了	翌年度4月1日	申込み時より1、3、5年	補償開始より1年	申込み時より1年	補償開始より1年
自動継続	△(口座振替のみ)	なし	○	○	なし
その他					
病気遭難対応	△(登山コースのみ)	なし	○	○	○
海外遭難対応	○(※4)	なし	なし	△(詳細不明)	なし
申込翌日山行対応	×(申込締切日有)	○	○	○	○
加入者数	53,000人(※5)	(公開無)	91,000人(※5)	(公開無)	(公開無)
疾病死亡見舞金 ^(※6)	10万円	なし	なし	なし	なし
補償・年齢制限	24時間補償、加入者 の年齢制限なし	24時間補償、79歳以上 は付保不可			
制度・他	損害保険会社と 団体保険契約 ^(※7)	損害保険代理店	日本山岳救助機構 会員制度	(一社)山岳寄付基金	日本費用補償少額短期 保険株式会社

※1 JMSCA山岳共済会とモンベル保険は、24時間補償の損害保険のため、加入タイプによって保険料が異なる。

※2 登山計画書の作成通知で全ての山行に対応(詳細不明)

※3 事後分担金：支払った遭難捜索費用を会員数で割って次年度に請求。

※4 登山コース保険の場合は、海外の6,000m以上の高峰登山以外であれば、傷害事故による死亡・後遺障害・入通院・傷害手術費等は、支払われる。ハイキング保険の場合は、海外での死亡・後遺障害・入通院・傷害手術・救援者費用等は、支払われます。但し、海外のトレッキング中の疾病(高山病等)による捜索・救助活動の費用補償を希望される場合は、加入して頂く保険が異なる。

※5 2019年度

※6 登山中に疾病で死亡した場合は、山岳共済会から弔意見舞金が支払われる。

※7 損害保険会社は、三井住友海上火災保険株式会社

登山再開に向けてのガイドライン

JMSCA登山医科学委員会

はじめに

5月25日に政府が新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に伴う緊急事態宣言全面解除を発表しました。これに伴い同日に山岳四団体より「山岳スポーツ愛好者の皆様へ」という声明文が発出されました。この中には山岳スポーツ再開に向けて基本的なガイドライン(指針)も含まれていました。弊協会登山医科学委員会としては、医学的な観点からさらに詳細なガイドラインを作成いたしました。

ただし、医学が発展したとはいえ、COVID-19感染症で確定的に分かっていることは、原因となるウイルスに関することが主で、未だに治療法も予防法も確立されていません。そのため、「3密」(密閉・密集・密接)回避という方法が提唱され、また皆様に実践いただいているところであります。

登山を再開する登山愛好者の方は、このガイドラインを参考にいただき登山仲間や山岳事業関係者への感染拡大を防ぐ活動にご協力いただければ幸いです。

A. 登山計画とアプローチ

1. 長期間の登山自粛により予想以上に体力が低下しているかもしれません。歩行時間の短いハイキング、里山の登山など負担の少ない活動から始め、自分の体力を確認するようにしましょう。
2. 山域を管轄する自治体の移動制限等の情報及び登山口までの公共交通機関の運行状況を事前に確認しましょう。COVID-19感染拡大に伴い公共交通機関の運行が中止になっていることがあります。また、公共交通機関が混雑する際には感染のリスクが高まります。自家用車の乗り入れが可能であれば自家用車でのアプローチも考慮しましょう。
3. 自家用車の際には車内は「3密」になりやすいので登山仲間との乗り合いは最小限にしましょう。移動中にはマスク着用、窓を開ける等の換気、トイレなどで共有設備に触れる前後には手指消毒を心がけましょう。
4. 山小屋やテント場を利用する際には事前に管理者に連絡し、運営状況を確認しましょう。通常営業とは異なり、閉鎖していることがあります。小屋を予約する際には、感染拡大防止のためのルールがあるのか確認してください。

B. 登山前の体調管理

1. COVID-19の潜伏期は1～14日間であり、暴露から5日程度で発症することが多いとされています。症状としては発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感がみられます。そして、症状からCOVID-19と感冒を区別することは困難です。
2. 以下に該当する方は登山を避けましょう。自分の体調の異常に早く気付くために、日頃からご自身の体温測定、健康チェックをするようにしましょう。
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある場合

C. 登山メンバー

1. メンバー数は登山道や休憩場所での密集・密接を避けるために少人数を推奨します。フィジカルディスタンスは2m以上、余裕のある間隔を保ちましょう。
2. リーダーを決めましょう。
3. リーダーはメンバーがB-2のA～Kに該当しないことを行動前に確認しましょう。
4. 単独行の際には自身の体調に異変を感じた時には登山継続を断念し下山してください。

D. 登山中の感染防止・体調管理

1. 行動中は、周囲の人と2m以上を空けること。運動強度が強い場合は吐く息が激しくなるため、より一層距離を空ける必要があります。ただし、登山道のカーブなどでお互いに見えなくなるような場所では必ず後続者を目視してから先に進んでください。
2. マスクは周囲の人に感染させないために状況に応じて着用しましょう。会話する際には必要ですが、行動中に息苦しさや暑さを感じる際には外しましょう。
3. できるだけ、マスクを着用したまま行動できるレベ

ルの登山を心がけてください。

4. 飲食時には 周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け同じ方向を向いて、会話は控えめにすること。飲み物の回し飲み、食べ物の授受・共有はやめましょう。個包装のものなど、素手で触れずに食べられる行動食は衛生的です。
5. 山では石鹼による手洗いが難しいためアルコール消毒液を持参し以下の際に使用しましょう。
 - ア 共有部分に触れた後
 - イ 食事の前
 - ウ トイレの後
 - エ 小屋への出入り時
6. リーダーは行動中の全員の体調に注意し、体調不良のメンバーが出た際には COVID-19 感染症を念頭において手当てしましょう。特に発熱や呼吸器症状がみられる時には速やかに下山してください。その際にはメンバー全員で行動し、傷病者に接触するメンバーはマスクと手袋を着用しましょう。
7. 具合の悪い登山者に会った際にもマスクや使い捨て手袋を着用し、できれば 2m 距離を空けて声をかけ、必要と判断されれば救助を要請しましょう。
8. 救助活動では救助する側も新型コロナウイルス感染対策が必要となりますので、自力下山可能であれば救助要請は控えていただきたいと思います。ただし、コースタイムの 2 倍程度まで時間を要する場合は、救助要請も止むを得ないと考えます。

E. 感染防止のための装備

1. 日帰り

マスク(予備も)、アルコール消毒液※、クロス(消毒剤含侵用)、体温計(接触型)、使い捨て手袋(予備も)、密閉(ジップロック付)ビニール袋、ゴミ袋、携帯トイレ
※手指消毒には 60% 以上、モノ表面消毒には 70% 以上が推奨されています。

2. 小屋宿泊

寝袋(小屋に毛布がある際にも持参)、マスク(多めに)
そのほか発症者が出た際に便利なもの
予備食、コンロ、ツェルト、経口補水液粉末、ココヘリ、携帯電話予備バッテリー

おわりに

以上、登山の流れに沿って注意点を記載しましたが、COVID-19 感染について強調したい点は以下の通りです。
・無症状でも感染していて他の人に感染させる可能性がある。

- ・急激に悪化することがある。
- ・山中で症状が出現した場合、搬送に時間がかかり、さらに救助に関わる人へ感染させるリスクが高くなる。
登山者自身が今までの登山とは異なり、常に感染予防が必要であることを意識する新たな登山スタイルを心がけましょう。
「山は逃げません」ので段階を経ながら安全登山をお願いいたします。

岩場でのクライミング再開に関するガイドライン

新型コロナウイルス感染拡大防止のための政府による緊急事態宣言が解除となりました。

これを受けて、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)・クライミング普及委員会では、今後の岩場でのクライミング再開に関するガイドラインを策定しました。

なお、このガイドラインは現段階でのガイドラインであり、今後の感染状況を踏まえて、逐次見直す可能性があることにご留意下さい。

- ◎国、地方自治体、スポーツ庁、日本スポーツ協会等のガイドラインやルールを遵守しましょう。
- ◎その岩場に独自のルールがある場合にはそのルールを遵守しましょう。
- ◎発熱、咳、倦怠感、息苦しさ、味覚・臭覚の異常等の症状がある、家族に感染症陽性とされた人がいる等、自らが感染している可能性がある場合には、クライミングを見合わせましょう。
- ◎三密(密閉、密集、密接)をできるだけ避けましょう。
- ◎移動中、クライミング中にかかわらず、事故を起こさないように注意しましょう(感染者が事故を起こせば、救急隊や医療関係者に感染拡大のリスクがあるため)。
- ◎岩場への移動(アプローチ含む)に関する注意
移動中の三密に留意しましょう。
移動中はマスクを着用しましょう。
地元住民とは距離を保ちましょう。
定められた駐車場以外は利用しないようにしましょう。
- ◎岩場での行動に関する注意(三密のうち密集、密接に注意)
岩場で密集・密接のおそれがある場合には、マスクを着用しましょう。
ロープをはじめとするギア等は持参し、共有しないようにしましょう。

パーティーは4名以下を原則的単位とし、パーティー内でも距離を保ちましょう。
他パーティーと距離を保ちましょう。
用便の場所・方法に注意しましょう。

全てのゴミはビニール袋に密閉して持ち帰りましょう。
2020年5月29日

以上



令和2年度 第1回理事会報告

日時 令和2年5月14日(木)
15:00～18:00

場所 JMSCA会議室を中心に
テレビ会議

出席者 八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村上、山口、水村、前田、六角、唐木、古賀、山本、古林、小日向、安藤各理事、中島、古屋各監事

1. 開会

初めてのテレビ会議での理事会開催について会長挨拶があり、事務局長から理事23名、監事2名の出席が確認されてから、事務局長がホストを務めて議事に入った。

2. 議題

- 議案第1号 議事録の承認について
令和元(2019)年度第11回理事会議事録の承認について(事前送付済)
異議なく承認。
- 議案第2号 令和元(2019)年度事業報告(案)について
一部加筆訂正あり。6月理事会まで検討継続。
- 議案第3号 令和2年度定時総会について
定時総会日程を特例措置として8月2日(日)に変更することを承認。出席方式か書面決議方式かは、今後のコロナ禍の状況次第。
- 議案第4号 会員規程の一部改正について
第5条第4項が提案通り承認された。
- 議案第5号 JSPPOコーチ、JMSCA審判員・ルートセッターの認定承認について
 - JSPPOコーチ認定
コーチ1:遠藤光志、村上友志(岩手)
コーチ2:出江俊夫、渡邊智義(東京)
※今後、審査結果を添付する事
 - C級審判員認定
別紙81名
 - B級審判員(昇格)認定
宮原敏明(佐賀)、中島陽子(山梨)、篠原大太(埼玉)、森本穰(神奈川)
 - C級ルートセッター認定
松浦凌(神奈川)
 - 一般ルートセッター認定
松本雄太郎(愛媛)、篠原朋泰(愛媛)
 - B級ルートセッター認定
笠原大輔(長野)、浅田史樹(大阪)
以上、①～⑥を認定承認。

- 議案第6号 正会員の入退会について
{入会} 宮原敏明(佐賀)、寺崎良夫(福岡)、平子吉政(福島)、杉田浩康(長野)
{退会} 三森一男(福島)、多田修(佐賀)
以上、各氏の入退会を承認。
- 議案第7号 アスリートパスウェイの謝金規程について
提案通り承認。
- 議案第8号 登録料の返戻について
インターハイの中止に伴う高体連登山専門部の登録料の返戻について、各学校の顧問が取り纏めたものを登山専門部事務局から請求して貰い、返戻する

3. 報告

- 報告第1号 公認指導員認定ミス及取り消しについて
 - 報告第2号 世界選手権検証経過報告について
「予算執行管理に関する運用規律」について説明があった。
 - 報告第3号 C A S 仲裁上訴の経緯・現状について
 - 報告第4号 「ストップ・ザ1000!!」登山部報告
 - 報告第5号 環境省自然保護指導員について
 - 報告第6号 後援名義承認について
第40回日本登山医学会学術集会(中止)
 - 報告第7号 加盟団体名称変更について
令和2年4月1日より長崎県山岳・スポーツクライミング連盟、同年4月22日より一般社団法人静岡県山岳・スポーツクライミング連盟。
 - 報告第8号 第78回国民スポーツ大会(佐賀)視察について→中止
 - 報告第9号 国体功労者表彰推薦について
岡本安夫氏(神奈川)を推薦
 - 報告第10号 監査所見に対する今後の対応
 - 報告第11号 令和元年度日山協山岳共済会事業報告及び決算報告
 - 報告第12号 クライミング大会のスケジュール変更案について
 - 報告第13号 予算執行管理に関する運用規律について
 - 報告第14号 第75回国体(鹿児島)開催可否の検討状況について
 - 報告第15号 A C C の今後のスケジュールについて
アジアユース選手権:11/19～22、重慶アジア選手権:12/10～13、アモイ
 - 報告第16号 山岳4団体の山岳スポーツ自粛の第2弾声明文について
- ### 4. 専門委員会報告(抄録)
- #### 4-1. SC医学委員会
- 3月21日(出) 19時～20時
テレビ会議 出席8名

ア) 議事

- 今後の競技会医務担当割り当て(JMSCA主催大会医務予定)
 - 各業務担当委員報告(年度総括含む)
 - 救護担当(中島委員、大森委員)
 - 人員配置
BJCは擦過傷が多く、コールゾーンとアイソレーションに人員配置した方がよい。
BJCは医師2名、アシスタント2名体制が望ましい。CJCも同様の体制を希望。
 - トランシーバー
運営とのトランシーバーは常設されているが、メディカル用トランシーバーが別途必要(2台)。医師はメディカル用、アシスタントは運営用トランシーバーを携帯することが望ましい。
 - 絆創膏、拭き取りガーゼについて
擦過傷に対する傷パワーパッドは剥がれやすい。大きい擦過傷に対応し、はがれにくいケアリーヴ(ニチバン製)の使用を提案。
ティッシュは拭き取りに不適。未滅菌ガーゼ、ウェットティッシュ、キッチンペーパー等も処置に必要。
 - 担架について
会場に担架がある場合はそれを使用。(事前に運用方法を確認)
会場にない場合(ジャパンツアーなど)は医科学委員会の携帯担架を使用する。
 - その他
・BJCでは会場が暗く、処置に困難なことがある⇒LEDヘッドライトを4つ購入。
・救護ベストも不足している⇒M、Lを同デザインで10枚ずつ追加作成する。
 - 強化連携担当(六角委員長)
MNE S社製の画像診断ツールを現在導入しているOneTapと連携させ、遠隔画像診断を可能にする。⇒1選手あたり500円ほどの支出⇒OneTap上で医療画像やスマホで撮影した画像データを権限者のみ閲覧できる。
- #### 4-2. 指導委員会
- 4月6日(月) 19:00～21:00
テレビ会議、出席9名
- ### ア) 議事
- SCコーチ認定申請書の件(委員会承認ミス)について
3月30日にJMSCA理事会の承認がおりてJMSCAの印鑑を押印した書類を2名に送り、4月3日に2名の承認を得た。次はJSPPOへ報告。
 - 氷雪技術研修会報告
令和2年2月15日～16日

- コーチ2の受講者の4名を得点表、申請書類を元に継続審議して全員雪上技術合格として、次のステップ(2名学科問題の送付、:2名の登攀研修会受講案内)へ。
- ③夏山リーダー講師養成講習会
- a. 2020年度として7月12日に熊本で開催予定、コロナの影響で未定。
- b. 2020年度の予定として東北地区でも行う予定だが、未定。
- ④夏山リーダー講習会
- 東京、金沢、広島、和歌山、近畿地区と予定して、日付が決まった地区は、HPにアップしたがコロナの影響で、東京、石川が中止になった。
- ⑤夏山リーダー検定会
- 神奈川で開催予定だが、詳細は未定
- ⑥夏山リーダー資格認定ピンバッジおよびワッペンについて
- ⑦夏山リーダー講習会として認定
- 2020年度は大阪府と三重県の講習会を認定の予定だが、大阪より、現在の夏山リーダーのカリキュラムと大阪のハイキングリーダーとの比較表が届いている。コロナが収束する状況を見極めて、2020年度は大阪だけでも、認定を行いたい。
- ⑧パンフレットに関しては、写真の差し替えと問い合わせ先を都道府県山岳連盟(協会)の担当者に変更することが、5,500円で可能なので、全国へ発信。
- ⑨富士山氷雪技術研修会
- 2020年度は中止とし、主任検定員は有効期限を1年延長して対応する。
- ⑩6月6~7日予定の全国指導委員長会議は、延期、出来ない場合は、何らかの方法で以下の情報を発信した方が良いのではないかと
- ・S C指導委員会が出来る事について(都道府県岳連の対応)
 - ・全国指導委員長会議の進めたかなど
- 2021年度の全国指導委員長会議の日程、6月第1週の土日(6/5~6/6)と決定。
- ⑪スポーツリーダー資格に代わり、コーチングアシスタント資格の創設→委員長より全国発信。
- ⑫その他
- a. 2021年度より、スポーツクライミン

グ指導委員会が発足した。
 新任の常任・専門委員は、遠方からでも参加可能出来るようにビデオ会議を検討。

b. 5月指導委員会の日程について
 5月11日(月)コロナが収束しない場合は、テレビ会議

4-3. 遭対委員会総会

- 3月28日18時~19時30分
 スカイプにて 18人参加
- ア)2020年度常任委員について常務理事会に諮る。
- イ)2019年度事業報告
 安全登山普及事業
- ①山岳レスキュー講習会
 J S C totoの補助金事業。
- ②研修会及び研究会
 講習会における遭難事故防止のための研究・指導
- a. 遭難対策委員研修会
 b. 全国遭難対策委員長会議
- ③全国山岳遭難対策協議会の共催
- ④山岳保険加入者の事故調査
- ⑤遭難事故科学的研究支援
- ⑥夏山リーダーへの取り組み
- ウ)2020年度事業計画
 以下の内容について資料に基づき報告を行った。
- ①2020年度予算
- ②安全登山普及事業
- a. 全国遭難対策委員長会議
 b. 常任委員会(各月)
 c. 全国山岳遭難対策協議会の共催(スポーツ庁他)
- ③夏山リーダーへの取り組み
- ④山岳レスキュー講習会
- ⑤遭対委員研修会、総会
- ⑥山岳保険加入者の事故調査
- ⑦遭難事故の科学的研究支援
- ⑧共済会活動
- ⑨減遭難活動
- エ)減遭難活動(別紙案参照)
- 追加提案:関東、関西の山岳事故が多発する山域で事故内容を調査し、対策を実施する。
- 例として、山岳事故が多発する箇所以案内板、ロープ等の設置を実施する等。

4-4. 登山医学委員会

- 4月12日 zoomにて15名出席
- ア)2019年度事業報告
- ①J S P O 公認スポーツドクター養成支援
- ②UIAA MedCom UIAA MedCom Meetingへの出席
 11月7-8日、Bolzano,Italy. 上小牧委員が出席
- ③J M S C A が支援している医科学的諸事業
- ④調査研究事業
- a. トレラン大会の安全基準作成のための調査研究
- b. 医療支援を視野に入れた学校登山の実態調査:
 8月3-5日:第63回全国高等学校登山大会(宮崎県)に救護支援
- c.「高山病と関連疾患の診療ガイドライン」の各都道府県山岳連盟(協会)への配布
- イ)2020年度事業計画
 UIAA MedCom 関連
- ①UIAA MedCom Meeting(Interlaken, Switzerland)への出席
 正規メンバーの増山委員が出席予定。次期正規メンバーの上小牧委員も可能なら同行。
- ②ADVICE AND RECCOMENDATIONの和訳分担
- ③インターハイ登山競技救護支援
 2020年8月に開催予定であるが新型コロナウイルス感染のため開催は難しいかもしれない。
- ④無雪期・積雪期セルフレスキュー救護支援
 無雪期:ファーストエイド実習やシュミレーショントレーニングの支援
 積雪期:「低体温症」の講義、その他
- ⑤調査研究事業
- a. 医療支援を視野に入れた学校登山の実態調査
 インターハイ登山競技の傷病者発生の状況を経年的に分析
- b. 夏山リーダー講習会支援の準備状況と今後の方針
- c. 2021年度以降の支援事業
 以下2事業を21年度以降の支援事業に加えるための準備をする。
- d. スノーシューイング大会(全日本、世界選手権)の救護支援
- e. 山岳スキー大会(日本選手権)の救護支援
- ウ)その他
- 本年2月に理事長会議で各都道府県に配布した「高山病と関連疾患の診療ガイドライン」は各岳連の講習会における参考資料として活用してほしい。内容について都道府県岳連から質問や問い合わせの希望がある際には返答するシステムを作りたい。大城委員に日本登山医学会のガイドライン作成委員会で検討いただくようお願いをした。

5. 会務・役員派遣(3月6日~4月8日)

- (1)オリンピックテストイベント
 3月6日(金)~7日(土)
 於:青海アーバンスポーツパーク
 村岡、小日向理事、安井強化委員長他

寄贈図書

寄贈本	佐久間 雅義	「新潟百名山」+10
雑誌	(株)山と溪谷社	「山と溪谷」6月号 No.1023
	(株)ネイチャエンタープライズ	「岳人」6月号 No.875
会報	中華民国山岳協會	中華山岳<雙月間> 276
	ベルニナ山岳会	「ベルニナ」71・72合併号
	健康・体力づくり事業財団	「健康づくり」No.505
	日本トレーニング指導者協会	「JATI EXPRESS」Vol.76
	三峰山岳会	「岩つばめ」360,361,362号
	(公社)日本山岳会	「山」5月号 No.900
	(公社)日本ネパール協会	「会報」2020年春号 No.253
	日本勤労者山岳連盟	「登山時報」2020年6月号 No.543
	鹿児島国体大会局	燃ゆる鹿児島
	東京野歩路会	「山嶺」No.1083 Vol.97
月報	新瀨県山岳協会	「新山協ニュース」第348号
	兵庫県山岳連盟	「兵庫山岳」第635号
	新聞	日本運動具新聞社
報告書	兵庫県豊岡市	「2019日本冒険フォーラム報告書」

- (2)スポーツ安全協会評議員会
3月19日(木) 於: 東海大校友館霞が関ビル35F 尾形専務理事
- (3)IFSC TV会議 3月24日(火)
於: JMSCA会議室 八木原会長ほか
- (4)東京2020オリンピック延期発表
3月24日(火)
- (5)第3回CJC実行委員会
3月25日(水) 於: 盛岡市 村岡理事

表紙のこぼ

東部カラコルムのアッパー・シャイヨーク河とヌブラ谷に挟まれて南西にリモ山脈とサセル山脈が連なる。

その一角に位置するリモ山群は、シュルカール・チョルテン氷河とノース・テロン氷河の源頭及びセントラル・リモ氷河とサウス・リモ氷河との間にある山群だ。

ノース・テロン氷河を遡って行くと突然目の前にリモ山群が現れた。写真は、リモI峰(右、7,385m)とリモIII峰(中央、7,233m)。

(写真撮影者 尾形好雄)

編集後記

コロナ禍による緊急事態宣言が全面解除になり、生活や経済活動が再開されつつある。

本協会も登山・スポーツクライミング活動の再開指針を本紙に掲載した。丹沢の表玄関大倉にある県立山岳スポーツセンターでは、以前からある「リード」壁に「スピード」、「ボルダリング」の壁が増設され、来る6月21日オープニングセレモニーが開催予定。4月中旬の予定がコロナ禍で延びてしまっていたもので、明るいニュースである。3壁が1箇所揃った施設は国内で何番目だろうか。いずれにせよここから将来のオリンピック選手や世界で活躍できるアスリートが多く輩出される事を期待する。(広報担当 水島彰治)

JMSCA 60周年募金協力者ご芳名
(2020年5月31日現在、敬称略)

600口: 坂口三郎、6口: 中島正喜、
2口: 峯本典寛、1口: 米倉得雄
(総額: 1025口 5,125,000円)

*
創立60周年記念事業募金のご協力をお願いします。6,000円以上の募金の場合、税額控除証明書を発行いたします。

みずほ銀行 渋谷支店 普通口座 3382501
口座名:
(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会
郵便振替 口座記号番号 00110-5-546693
加入者名:
(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会

一般財団法人 日本トレイルランニング協会

〒141-0031
品川区西五反田6-3-23-205
☎03-3492-0355 FAX 03-6451-3767

登山月報 第615号

定価 110円(送料別)
予約年間 1,300円(送料共)
昭和45年12月12日
第三種郵便物認可
(毎月1回15日発行)

発行日 令和2年6月15日
発行者 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
Japan Sport Olympic Square 807
公益社団法人
日本山岳・スポーツクライミング協会

電話 03-5843-1631
FAX 03-5843-1635

山岳 雑誌 岳人

がくじん
山と人、時代をつなぐ「岳人」

2020 July No.877
山岳のドラマ
★エヴェレスト
★新田次郎

7月号 発売中

【特集】山のドラマ
★モンベルのウェブサイト
全国のモンベルストアや書店にて発売中!

毎月15日発売 価格880円(+税)

年間購読がおすすすめです。

購読割引 送料無料 Tシャツセット

年間購読なら、お得な価格で毎月お手元に冊子が届きます。

2色から選べる!

通常価格 12冊

~~10,560円(税込)~~
11,616円(税込)

年間購読 12冊 + Tシャツ

9,680円(税込)
10,648円(税込)

「岳人」年間購読 + 岳人Tシャツ セット

期間限定 キャンペーン

岳人の年間購読を【新規お申し込み】または【ご継続】いただくと、「岳人Tシャツ」クーポンをセットでお届け。
キャンペーン期間(お申し込み日)
2019年10/15(火) ~ 2020年10/14(水)
(2019年12月号から2020年11月号までの年間購読開始が対象となります)

※購読開始号に同封されているクーポンを全国のモンベルストア店頭でTシャツと交換させていただきます。ご来店いただけないお客さまには発送も可能です。

年間購読のお申し込みはこちらから! >>>

<https://www.gakujin.jp/>

全国のモンベルストアでも受付中!

お問い合わせ
モンベルポスト

0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

あなたを守る。
あしたを作る。
三井住友海上

損害保険と聞いて、
なにを思い浮かべますか？

ケガ、災害、事故…日々の中で起こりうるリスクをカバーする。それは私たち三井住友海上の重要な任務ですが、すべてではありません。たとえば同じ自動車保険でも、暮らしの変化や自動車の進化を見つめて改善を続けること、宇宙開発や再生医療など、まだ世界にない保険を新しく作ることで社会の前進をサポートすることも、とても大切な役割です。変わらない一日に寄り添い、より豊かな明日を実現したい。だから私たちは、守ることと作ること、その両方を繰り返しながら前へ歩み続けます。

みつ い すみ とも かい じょう
三井住友海上
時空保険
探査部
Space-time Insurance
Exploration Department

人類にとっての
損害保険の
必要性を調査。

時空を超える
ゲート。

社員証を
かざせば
タイムワープ。

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上



登山者のマナー 山岳保険

あなたのは山岳保険ですか？

- 傷害死亡・後遺障害
- 遭難捜索費用
- 救援者費用
- 傷害入院費用
- 傷害通院費用
- 傷害手術費用
- 個人賠償責任

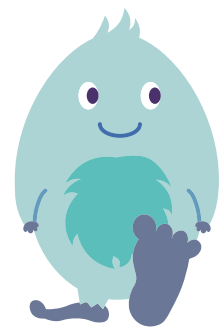
日山協 山岳共済会 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707

TEL 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397

E-mail sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日除く)

携帯からも資料請求ができます。
<https://sangakukyousai.com>



WEBからもお申込みいただけます